



2015年8月21日

東急池上線戸越銀座駅リニューアル“木になるリニューアル”が始まります。
～多摩産材の木材を使用した駅改修工事、2016年夏頃竣工予定～

東京急行電鉄株式会社

当社は、沿線の皆さまがイキイキと働き、快適に暮らし、楽しみのある街を実現するために、新たな取り組みとして「いい街 いい電車 プロジェクト」をスタートさせました。

その一環として、2015年9月から、東京・多摩産材の木材による戸越銀座駅リニューアル「木になるリニューアル」に着手します。

これは、開業より約 90 年が経過した戸越銀座駅を、駅をご利用されるお客さまや周辺住民の方のご意見を参考に、木造駅舎の雰囲気を踏襲したリニューアルを行うものです。具体的には、東京都内で生産される多摩産材を用いたホーム屋根、トイレの建替え、駅舎内外装を改修すると共に、商店街と連携した駅施設のデザインやまちの情報発信機能等を整備し、まちの話題づくりと来街促進を図ります。2016年夏頃の竣工を予定しています。

この「木になるリニューアル」は、当社が「平成27年度東京都森林・林業再生基盤づくり交付金事業」において採択を受け、同事業の補助により実施するもので、都内の鉄道施設としては初めての事例となります。

今後も、地域にお住まいの方々と様々な魅力づくりに取り組み、更なる沿線の活性化に努めていきます。「木になるリニューアル」の概要は、【別紙1】のとおりです。

※木になるリニューアルの最新情報については、随時弊社WEBサイト「いい街いい電車プロジェクト」<http://ii.tokyu.co.jp/>【別紙2】にアップしていきます。



戸越銀座駅ホーム屋根リニューアル イメージパース
(実際の計画と異なる場合があります)



事業PRポスター「木になるリニューアル」

以上

【別紙1】

東急池上線戸越銀座駅リニューアル“木になるリニューアル”概要

《全体概要》

- 建物名称 東急池上線戸越銀座駅
- 所在地 東京都品川区平塚1丁目669号2番
- 工事内容 駅舎内外装の改修(駅舎の内外装がリニューアルします)
ホーム屋根の建替え・延伸(ホーム全体に屋根がかかります)
トイレの建替え(男女トイレの出入口までの段差がなくなります)
※上記すべての工事に多摩産材を活用します。
- 着工 2015年9月
- 竣工予定 2016年夏頃

《多摩産材概要》

東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材を一般的に「多摩産材」と呼びます。東京は、総面積の約4割を森林が占める自然に恵まれた世界でも有数の大都市であり、地場の多摩産材を活用することは、水源のかん養や災害の防止、二酸化炭素の吸収などの多面的な機能を維持する他、東京における持続的な森林整備と林業振興にも繋がります。



【別紙2】

《いい街いい電車プロジェクト概要》

「いい街 いい電車 プロジェクト」は、
さまざまな安全対策、便利さや快適さへの投資、国際化や情報化社会への対応、
同時にお客さまや沿線地域社会とのかかわりなどを通して、
街と電車がより良くなるための活動＝プロジェクトです。

人々がいきいきと働ける街。快適に暮らせる街。さまざまな楽しみがある街。
それらは駅を中心に広がります。駅と電車の存在は、街と強く結びつくと考えます。
だからこそ、もっと街がかがやき、
そして街の人たちにもっと笑顔になっていただくためには、
まず私たち東急電鉄はもっといい駅、いい電車を創っていく必要があると思います。

お客さまと、また地域の方々と、さらにコミュニケーションを深め
より良い関係を築いていくためにも
私たちは駅と電車の果たす役割を今まで以上に意識し、
従来の輸送サービス業という発想から、
「ヒトとヒト、ヒトとマチを結ぶ」電車へとステージアップをめざします。

次なるステージを目指し、私たちはこのプロジェクト、
「いい街 いい電車」を実現するために、新たな挑戦を開始します。

《共通ロゴマーク》



《これまでのコミュニケーション》



「2020年全駅ホームドア計画」



「踏切安全対策」